

平成30年度当初予算(案)・平成29年度3月補正予算(案)
事業等説明資料

一般会計	P 1
特別会計・事業会計	P 36

京都府 宮津市

事業名	継続	予算額	財 源 内 訳					
			国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
浜町エリアの活性化に向けて (浜町にぎわいづくり推進事業・都市公園等整備事業)								
ビジョン 重点戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	157,492	18,996	11,073	95,000	14,904	17,519
総合戦略 策 略	しごとをつくり、安心して働けるようにする		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	・ H26：浜町立体駐車場の取得（市営化） ・ H27：観光交流センターオープン、道の駅登録、宮津まちづくり会議報告書の提出 ・ H28：地域振興拠点の具体化に向けた宮津商工会議所による事業パートナーの選定 ・ H29：道の駅内にパイロット事業施設「おさかなキッチンみやづ」オープン 島崎公園の改修・整備に着手（実施設計・工事）		H28.3繰越含む	国	地方創生推進交付金			18,996
			133,884	府	市町村未来づくり交付金			11,073
				市債	過疎対策事業債			95,000
目 的 ・ 目 標	浜町周辺（地域振興拠点）を「魅力ある集客ゾーン」としていく。		期 待 さ れ る 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31：300万人（H28：約291万人） 観光消費額 H31：150億円（H28：約94億円） 外国人観光客宿泊数 H31：5万人（H28：約2.8万人）				
事 業 概 要	■観光交流センター及び立体駐車場の運営 24,500千円 交通アクセス環境の向上により来訪者が増加する中で、地域振興拠点を「丹後観光のゲートウェイ」・「周遊型・滞在型観光の拠点」とするため、観光交流センター及び立体駐車場を運営する。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
	■魅力ある集客ゾーンの具体化 37,992千円 ○地域振興拠点の具体化に向けたパイロット事業への支援 13,368千円 ・地域振興拠点の具体化に向け、宮津商工会議所が事業パートナーとともに実施するパイロット事業へ支援		27	年度策定	浜町エリア及びその周辺エリアの活性化に向けて	計 画 期 間		
	○パイロット事業施設リース料 23,328千円 H29に開業したパイロット事業施設のリース料（3年リース）			年度策定				
	○地域振興拠点マーケティング業務委託 1,296千円 地域振興拠点全体のマーケティング業務を委託。			年度策定				
	■都市公園等整備事業（島崎公園の改修・整備） 95,000千円 浜町の賑わいづくりにあわせ、島崎公園をより利用しやすく親しみを持てる公園として、改修・整備を行うもの。 （子どもから高齢者まで、幅広い年代の多くの方が集い憩える公園を目指す。）			年度策定				
		【市民参加の状況】						
		■島崎公園 改修・整備計画策定 H29.7～9 意見交換会 H29.9～10 パブリックコメントの実施 H30.1 市民報告会						
		【先進性】						
		担当部署 企画部 観光定住課 定住まちづくり係 建設部 都市住宅課 まち景観係	TEL	45-1607 45-1630				

(単位:千円)

事業名	宮津の自然・歴史・文化を高め、国内及び世界へ発信する取組 (世界遺産登録推進事業、インバウンド推進事業、北前船港町まちづくり事業、丹後ちりめん創業300年事業)		継続	予算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興 環境保全と生活環境の向上	7,871		1,722		5,036	1,113	
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19. 9: 天橋立の世界遺産暫定リスト登録を文化庁に申請(府・1市2町共同) ・H19.12: 市民主体の活動組織「天橋立を世界遺産にする会」設立 ・H20. 9: 文化庁、暫定リスト審査結果発表。次点の「1a」評価。 ・H26. 7: 「北前船寄港地フォーラムin宮津・京都」開催 ・H28.11: 「世界で最も美しい湾クラブ」正式加盟決定(第12回総会・メキシコ) ・H29. 4: 「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」日本遺産認定 ・H29. 5: 「北前船寄港地日本遺産登録推進協議会」(H28.6発足)が解散、「北前船日本遺産推進協議会」発足。 			7,260	府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金	972			
				府	市町村未来づくり交付金	750				
				繰入	自然環境保全基金繰入金	1,440				
				繰入	まちづくり基金繰入金	3,550				
期 待 さ れ る 効 果	天橋立を地域の宝として世界に発信していくため、世界遺産登録に向けた活動の推進、世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンド観光戦略の推進、北前船文化を活かしたまちづくりの推進、丹後ちりめん創業300年事業の実施などの各種取組を一体的に取り組む。				諸	世界で最も美しい湾クラブ年会費分担金	46			
目 的 ・ 目 標					<ul style="list-style-type: none"> ・天橋立の保全継承 ・天橋立、宮津湾の国内外への幅広い情報発信 ・北前船関連資源の観光資源化 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31: 300万人(H28: 約291万人) 外国人観光客宿泊数 H31: 5万人(H28: 約2.8万人)					
事 業 概 要	■天橋立世界遺産登録の推進 1,440千円 ○天橋立世界遺産登録可能性検討委員会(事務局:京都府)への参加等 24千円 ○「天橋立を世界遺産にする会」への支援 1,416千円 ・天橋立の世界遺産登録に向けたシンポジウムなど啓発事業等を支援			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
				年度策定				計 画 期 間		
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
	■世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンドの推進 2,000千円 ○世界で最も美しい湾クラブ連携 1,259千円 ・第13回総会(H30.4フランス・ヴァンヌ市)への出席、第14回総会(H30.10台湾・澎湖(ポンフー))への出席、年会費負担 ○4湾連携 53千円 ・国内加盟湾(松島湾、富山湾、駿河湾)とのネットワークの構築及び連携事業の展開 ○京都宮津湾・伊根湾クラブへの取組支援 688千円			【市民参加の状況】						
				<ul style="list-style-type: none"> ・天橋立を世界遺産にする会、北前船まちづくり委員会は、市内の事業者や各団体、自治連、住民など、各層で構成。 ・天橋立の一斉清掃、市民による北前船の取組など、種々の取組に主体的に参画、参加。 						
	■北前船文化を活かした観光地域づくり 4,300千円 ○北前船まちづくり委員会の活動支援 1,500千円 ・市民向け講演会等の実施、市民団体が実施する他の北前船寄港地との交流事業への支援など ・各寄港地とのネットワーク強化(北前船寄港地フォーラムへの参加) ○北前船寄港地日本遺産活動ほか 2,800千円 ・北前船寄港地日本遺産推進協議会(38自治体で構成)への参画と連携			【先進性】						
				<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコの後援を受けている国際組織への加盟 ・北前船寄港地による日本遺産登録への取組 						
	■丹後地域のものづくり文化を活かした魅力発信 131千円 ○丹後ちりめん創業300年事業実行委員会(H29.1設立)への負担金			担当部署	企画部 企画政策課 環境交通政策係 観光定住課 観光振興係 産業経済部 産業振興課 産業推進係	TEL	45-1609 45-1625 45-1663			

事業名	里の地域資源活用事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	42,000	12,129			17,800	12,071
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	H25～26：オリーブ栽培の実証を開始 H27：経営戦略の策定 日伊文化交流協会との連携協定の締結 実証結果を踏まえ栽培の開始 加工品生産基盤整備の支援 H28～：栽培・加工技術の向上やブランド化、販路開拓等全体をマネジメントし、宮津のオリーブ産業をけん引する「オリーブオイル宮津」の立ち上げに向けた準備室の設置			46,700	国	地方創生推進交付金		12,129	
					繰入	過疎地域自立促進事業基金繰入金		17,800	
目 的 目 標	オリーブの生産拡大、技術の向上、栽培者の育成等を支援することにより、オリーブの産業化を図るとともに、雇用の創出につなげる。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品開発 ・観光消費の拡大や全国展開等による外貨獲得 ・生産者や加工事業者の増加による地域雇用の創出 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 オリーブの植栽数・出荷量 H31 : 10,000本 H29春 : 1,370本				
事 業 概 要	■オリーブオイル宮津（OOM）の運営支援 23,500千円 栽培・加工技術の向上や宮津オリーブのブランド化、販路開拓等の業務を行い、宮津のオリーブ産業をけん引するマネジメント組織「オリーブオイル宮津」の運営を支援し、生産者等へのサポート体制の強化を図る。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定			計 画 期 間		
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
			由良地区では由良オリーブを育てる会が、日置・下世屋では日置世屋オリーブを育てる会が組織され、取り組まれている。宮津地区など他地区の農業者へも栽培の取組が広がりがつつある。						
			【先進性】						
■地域おこし協力隊の配置 12,000千円 地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため、地域おこし協力隊を配置 <ul style="list-style-type: none"> ・市内オリーブ生産者の支援等（継続3名） 			担 当 部 署	産業経済部 農山漁村振興課 農山漁村振興係		TEL	45-1667		

(単位:千円)

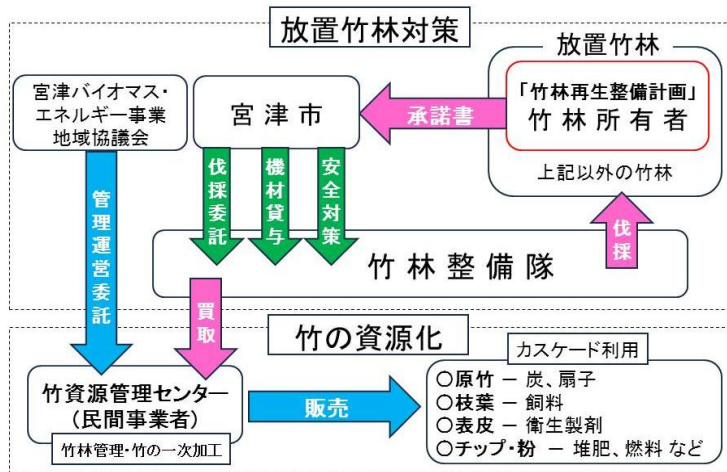
事業名	元気な里づくり推進事業	継続	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	4,000					4,000
総合戦略策	みやづを担う次代の人づくり			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
背景経緯	地域会議等を主体に、地域の課題解決に向けた里力再生計画の策定や話し合い活動、実践活動(特産品開発や加工グループの新商品開発、獣肉加工施設の整備など)等に取り組んできた中、地域産業づくりや定住促進等に取り組む団体から、地域資源を活用した人材の育成や産業化について提案があったもの。			11,360					
目的目標	全国で唯一、上世屋に継承されてきた藤織り技術を活用した実践活動の展開や産業化を図るため、外部人材を配置し、集落の活性化を図る。			期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の育成 ・移住・定住者の増加 ・地域資源を活用したものづくり 				
事業概要	<p>■農村集落活性化を担う人材の育成 4,000千円</p> <p>地域おこし協力隊の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集人員 1名 ・活動内容 藤織り等地域資源を活用した里の元気づくり活動 ・活動拠点 上世屋地域(上世屋定住促進協議会が活動をサポート) <p>※上世屋定住促進協議会(平成28年4月発足)</p> <p>地域農業者団体や住民組織などの5組織で構成。地域産業づくりと移住・定住の推進等に取り組んでいる。</p>			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計画期間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
【市民参加の状況】									
地域の住民・団体等で構成する組織が提案し、同組織が活動のサポートを行うもの。									
【先進性】									
担当部署		産業経済部 農山漁村振興課		TEL	45-1667				
		農山漁村振興係							



事業名	新規就農者育成等営農体制の構築と農地利用の最適化の推進 (人・農地プラン策定事業、農地中間管理事業、新規就農者育成支援事業)	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	9,202		7,152		1,900	150
総合戦略 策	みやづを担う次代の人づくり			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	<p>就農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの問題に対応するため、地域の話し合いを通じた合意形成による人・農地プランの策定を推進するとともに、担い手の育成・確保等への取組に対して支援を行っている。</p> <p>H26.6：農地中間管理機構(農地の貸し手と借り手をつなぐ中間的受け皿となる組織)を通じて、農地の利用権を担い手へ集約する農地中間管理事業が開始。</p> <p>H28.4：農地利用の最適化を進めるため、農地利用最適化推進委員の新設等の新たな農業委員会制度が開始。</p> <p>H29.7：宮津市農業委員会組織体制の変更(農業委員22人 → 農業委員14人、推進委員10人) ※農地利用最適化推進委員：担当区域における農地等の利用の最適化推進のために、主として現場活動を行う。</p>			11,055	府	農業振興事業費補助金		1,152	
					府	新規就農総合支援事業補助金		6,000	
					その他	農地管理事業委託金		1,900	
期 待 さ れ る 効 果	担い手への農地の集積・集約化 遊休農地の発生防止・解消 新規参入の促進 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 新規就農者、就漁者数 H26:3人→H31:20人 H27:1人、H28:0人、H29:2人								
目 的 目 標	「人・農地プラン」の策定を推進し、そのプランに基づき地域の農業を支える担い手等への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等を進め、持続可能な営農体制の構築や農地の利用促進を図る。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
事 業 概 要	<p>■人・農地プランの策定 300千円 地域農業のあり方や今後の地域農業の担い手について話し合い、「人・農地プラン」の策定や既存のプランの見直しを行う。 <策定済み> 9プラン (18集落) <話し合い継続中> 3プラン (7集落) <H30新規・更新> 2地域 (16集落)</p> <p>■農地中間管理事業を活用した農地の集約 2,902千円 ○機構集積協力金 農地中間管理機構を通じた農地の集約に対し、集積協力金の交付を行う。 ・地域に対する支援(地域集積協力金)：2地区 約14.9ha ・個人に対する支援(耕作者集積協力金等)：15筆 約0.8ha ○農地中間管理事業に関する受託事務</p> <p>■営農体制の構築に向けた取組への支援 6,000千円 ○新規就農者の育成支援 4名分(1,500千円/年・人)</p>			25 年度策定	波路地域、小田宿野地域京力農場プラン	計 画 期 間	25 ~ 29		
				27 年度策定	上世屋地域、田原地域京力農場プラン		27 ~ 31		
				28 年度策定	養老中部地域、波見谷地域京力農場プラン		28 ~ 32		
				29 年度策定	溝尻・国分地域、矢原・脇の浜地域京力農場プラン		29 ~ 33		
				【市民参加の状況】					人・農地プラン策定や貸し手と借り手のマッチングのための地域における話し合い
【先進性】									
担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係 農業委員会事務局			TEL	45-1626 45-1645				

事業名	山の地域資源活用事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	5,860	1,692	2,476		1,600	92
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	H21～H23:「宮津環境産業創出研究会」支援 H22 : 竹林再生整備計画(32自治会、173か所、164ha)の策定 H22～H24:「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」支援 宮津バイオマスエネルギー製造事業所建設(H23.8竣工)、技術実証 H27 : 「地域竹林整備隊」編成、「竹の買取制度」創設、連続炭化装置の研究開発への支援 H28 : 民間事業者による竹資源管理センターの運営			3,400	国	地方創生推進交付金		1,692	
					府	豊かな森を育てる府民税市町村交付金		2,476	
				繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金		1,600		
目 的 目 標	放置竹林の整備による森林環境の改善を図るとともに、山の地域資源「竹」を有効に活用する民間事業者の内発型事業を推進する。 併せて関連企業の誘致に取り組み、地域雇用機会の創出と地域経済の活性化を図る。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境の改善(竹林の再生) ・竹に関する情報の収集、加工技術の開発・集積と新たな産業の創出、雇用の拡大 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 竹の一次加工品出荷額 H31目標:450.0t H28実績:34.3t				
事 業 概 要	■放置竹林の整備と竹のカスケード利用の促進 ○放置竹林の整備 3,000千円 整備面積=2.0ha(8,000本) ○竹林整備隊強化拡充事業 2,860千円 <ul style="list-style-type: none"> ・貸与機器の購入(竹割機、突出し機) ・新規隊員の安全講習等 ※整備隊の編成(登録:27人、1団体、3法人) ・貸与機材の管理(保険、修繕) 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				22年度策定	竹林再生整備計画		計 画 期 間	22～	
				年度策定					
				年度策定					
			年度策定						
			【市民参加の状況】						
			<ul style="list-style-type: none"> ・地権者、関係者の竹伐採への協力 ・土地の使用及び竹の無償提供 ・地権者、関係者の承諾に対する自治会の全面協力 						
			【先進性】						
			<ul style="list-style-type: none"> ・竹林の再生と竹のカスケード利用の促進 ・農林バイオマス3号機技術による竹の液体燃料化、ガス化発電施設は国内初 						
			担当部署	産業経済部 産業振興課 産業創出係		TEL	45-1608		

〈参考〉事業イメージ



事業名	海の地域資源活用事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	7,576	650				6,926
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				8,135	国	地方創生推進交付金			650
背 景 経 緯	<p>漁獲量の減少や魚価の低迷などによる漁業経営の不安定を解消するため、つくり育てる漁業による生産拡大のほか、京のブランド産品「丹後とり貝」や育成岩がき、ナマコ、クロアワビなど、ブランド水産物の生産拡大が強く求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.4 : 京都産ナマコブランド協議会の設置 ・H29.11 : 京都府立海洋高等学校が人工種苗生産に係る研究を行い成功 			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・つくり育てる漁業の推進による漁業所得等の向上 ・加工事業者の増加による雇用の創出 ・外国人観光客をターゲットにした外貨獲得 <p>【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ナマコ等育成水産物の出荷額：H31目標：36,000千円 H28実績：20,410千円</p>				
目 的 目 標	ナマコなど「海」の地域資源を活用し、魅力ある新商品の開発を行うとともに、水産物の生産と需要の拡大を進め、漁業経営の改善や就業者等雇用の創出につなげる。								
事 業 概 要	<p>■ 元気な海づくり推進事業 3,326千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業主体：京都府漁業協同組合 ○事業内容：イワガキ育成筏の設置に対する助成（2基） 補助率1/6 ※府直接補助(補助率1/2)への上乗せ支援 原木魚礁の沈設、種苗放流、種苗の採取・育成、漁場整備、 共同利用施設の整備への支援 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
<p>■ ナマコ資源の活用及び価値向上に対する支援 1,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源の増殖・育成実証調査 資源の確保や生産拡大を図るため、新たに幼生ナマコ着床魚礁の設置など宮津湾における増殖・育成の取組を支援する。 ○インバウンド向け販路開拓 中国発着のクルーズ船の舞鶴港入港に合わせ、加工品の販売を行う販路拡大の取組を支援する。 			【市民参加の状況】						
<p>■ 地域おこし協力隊の配置 2,950千円</p> <p>地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため、地域おこし協力隊を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナマコ加工の生産活動（1名・継続(H27.12~H30.12)） 			【先進性】						
			担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 農山漁村振興係 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1667 45-1626			

事業名	新規就漁者育成支援事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他 一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	1,525			1,525	0
総合戦略 政 策	みやづを担う次代の人づくり			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳			
				1,525	使手	漁港施設占用料		1,525
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.4:京都府海の民学舎が開設 ※2期生(H28入舎)4名、3期生(H29入舎)5名が研修中 ・H28.4:1期生の2名が本市(栗田地区・養老地区)で独立型漁業研修を開始 ・H29.4:1期生のうち養老地区1名が就業を、1期生の1名が養老地区で研修を開始 ・H30.4:3期生の1名が栗田地区で研修を開始予定 							
目 的 目 標	漁業の後継者を育成する実践型研修機関の運営を支援するとともに、新規就業者の漁船・漁具の整備を支援することにより漁業の担い手の育成・確保を図る。			期 待 さ れ る 効 果	・若手漁業者の育成による漁業従事者の確保や後継者不足の解消、漁村への定住 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ■新規就業者、就漁者数 H26:3人→H31:20人 H27:1人、H28:0人、H29:2人			
事 業 概 要	■ 海の民学舎運営協議会負担金 525千円 新規漁業就業者の育成や若手・中堅漁業者の経営力の向上を図る実践型研修機関として開設された「海の民学舎」の運営を支援			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
	①:海の民学者の運営			年度策定			計 画 期 間	
	内 容 [1年目] 海洋センター等で講義・実習による漁業の知識と技術を習得			年度策定				
	[2年目] 漁村に定住し、漁業現場で実地研修			年度策定				
	負担金 150千円(総事業費:約9,000千円、沿海4市町:各150千円)			年度策定				
	②:新規就業者ステップアップ事業			【市民参加の状況】				
内 容 海の民学舎生や若手漁業者等を対象とした経営力向上講座等の開催								
負担金 375千円(事業費3,000千円を府1/2、沿海4市町1/2で負担)								
■ 漁業担い手用漁船・漁具リース事業 1,000千円 漁協が中古漁船・漁具等を購入し、学舎生等へリースする取組を支援 ○事業主体 京都府漁業協同組合 ○補助対象 本市就業者・研修者が使用する中古漁船・漁具等の購入費 ○市補助金 1,000千円(府1/3・市1/3・学舎生1/3)			【先進性】					
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626		

事業名	海岸保全施設整備事業		継続	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	100,000	50,000	16,666	21,900	1,400	10,034
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	<p>・栗田半島東側に位置する海岸については、背後地は人家が密集しており、離岸堤が設置されていない箇所において、波浪時には非常に危険な状態である。</p> <p>・海岸保全施設は、築造後相当の年月を経過し、部材の経年変化、波力等の影響による損傷や機能低下が進行しており、適切な機能を継続的に発揮していくためには、効果的かつ効率的な維持管理・更新等により施設の長寿命化や更新コストの縮減を図ることが強く求められている。</p>			30,000	国	海岸保全施設整備事業費補助金	50,000		
					府	海岸保全施設整備事業費補助金	16,666		
				市債	過疎対策事業債	21,900			
				分負	漁港施設整備事業分担金	1,400			
目 的 ・ 目 標	<p>・離岸堤の設置により波浪等から海岸を防護し、背後住民の生命・財産の保全を図る。</p> <p>・海岸保全施設の老朽化に対応するため、機能保全計画を策定し、効果的かつ効率的な海岸保全施設の維持・更新を図る。</p>			期 待 さ れ る 効 果	<p>・背後住民の生命・財産の保全</p> <p>・施設の長寿命化による施設更新経費の縮減・平準化</p>				
事 業 概 要	<p>■海岸保全施設整備事業 70,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業地区 栗田漁港海岸地区 ・事業内容 離岸堤（消波ブロックの製作・設置） ・事業費 工事費 70,000千円 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定					計 画 期 間
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
				【先進性】					
<p>■海岸保全施設機能保全計画策定事業 30,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業地区 2海岸（栗田、養老海岸） ・事業内容 長寿命化計画の策定（施設の機能診断、計画策定等） 			担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 産業基盤係		TEL	45-1627		

(単位:千円)

事業名	観光商業施設整備事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	120,000	35,000		85,000		0
総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	卸売事業者の減少により、食品卸売センター機能が低下する中で、当該センターを観光商業施設に転換する。 ・H24：社会資本整備総合交付金(まちづくり交付金)採択(H24～H28の5か年計画) ・H25：観光商業施設用地(宮津市食品卸売センター底地)を購入 ・H28：観光商業施設整備に向けた基本設計、先行改修整備(トイレ) ・H29：実施設計、外装工事、宮津漁師町観光商業センター条例の制定			H28.3繰越含む	国	地方創生推進交付金			35,000
				129,600	市債	過疎対策事業債			
目 的 目 標	浜町(まちなか)から天橋立の中間点に位置する宮津市食品卸売センターを誘客・商業施設に改修整備することで、全線開通した京都縦貫自動車道や海の京都観光圏の取組等によって増加傾向にある来訪者に立ち寄っていただき、観光消費額の拡大を図り、市内産業の活性化及び地域経済力を高める。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> 観光消費額の拡大 地元農林水産物等の流通の円滑化と市内産業の活性化 				
事 業 概 要	■観光商業施設(宮津漁師町観光商業センター)改修工事費 120,000千円 宮津市食品卸売センターを「稼ぐ観光につながる」誘客・商業施設に改修整備する。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	<工事内容> ○内装工事(床嵩上げ、間仕切壁、建具等) ○電気設備(高圧受電設備、照明等) ○機械設備(給排水管等の敷設替え等) ○外構工事			28 年度策定	地域再生計画「京都府北部地域 連携都市圏形成推進プロジェクト」			計 画 期 間	28 ~ 32
	<今後のスケジュール(予定)> ○平成30年3月末：外装工事完了 ○平成30年5月：内装等工事着手 ○平成30年9月：内装等工事完了 ○平成30年10月：改装オープン			【市民参加の状況】					
				<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者による出店、出品 市内事業者による施設運営会社の設立 					
				【先進性】					
			担当部署	産業経済部 産業振興課 産業推進係			TEL	45-1663	

事業名	農水商工観連携推進事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	8,228	20	1,593			6,615
総合戦略策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.3:「宮津農水商工観連携会議」発足 ・H27:商品の開発・改良(7品目)、商品PRパンフレット・食べ歩きマップの発行 ・H28:商品の開発・改良(9品目)、地域ブランド「宮津遺産」の創設、5品目認定 ・H29:「宮津遺産」4品目追加認定、お土産物17品開発(予定)等 			8,729	国	地方創生推進交付金			20
					府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金			1,593
目 的 目 標	農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、6次産業化、地産地商(消)等をさらに推進し、地域経済力を高めるための自立循環型経済社会構造への転換を図る。			期 待 される 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなお土産物開発による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光消費額 H31:150億円 H28実績:94億円				
事 業 概 要	■宮津農水商工観連携会議の活動支援 5,000千円 商工会議所を中心に、6次産業化やものづくり等を進められている「宮津農水商工観連携会議(平成26年3月設立・28団体・事務局:宮津商工会議所内)」の取組を継続支援<農水商工観連携会議の活動> 実需要や消費者ニーズに合ったお土産物開発(重点取組)、販路開拓支援、宮津遺産認定によるブランド化の推進など			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
■料理メニュー・特産品開発アドバイザー事業(大和学園連携事業) 1,000千円 既存商品の改良や新規商品の開発の指導、アドバイスを大和学園講師が実施			【市民参加の状況】						
■特産品等振興事業補助金事業 2,187千円 市内農林水産物を使用した特産品や市内事業者が生産する土産物づくり、販路拡大を支援			宮津農水商工観連携会議は、市内の各分野の機関・団体等に参画いただき、協議検討を進めている。						
■農商ビジネスフェア(北部地域連携都市圏 移住定住プロジェクト) 41千円 北部7市町が合同で実施するフードコラボラボ(マッチングフェア)開催に係る負担金			【先進性】						
			担当部署	産業経済部 産業振興課 産業推進係		TEL	45-1663		

(単位:千円)

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業		継続	予算額	財源内訳				
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	55,672	7,700	6,939		26,250	14,783
総合戦略策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
背景経緯	H27.7:京都縦貫自動車道の全線開通 H27.7~11:海の京都博の開催 H28.6:(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(以下「海の京都DMO」)の設立 H28.8:(公社)天橋立観光協会が海の京都DMOに統合参画(以下「海の京都DMO天橋立地域本部」)			60,135	国	地方創生推進交付金			7,700
					府	市町村未来づくり交付金			6,939
					繰入	観光振興基金繰入金			26,250
目的目標	日本の顔となる観光地を目指し、天橋立に代表される観光資源の活用並びに海の京都DMO及び海の京都DMO天橋立地域本部と連携して、観光入込客の増加、観光消費額の拡大を図る。			期待される効果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31:300万人(H28:約291万人) 観光消費額 H31:150億円(H28:約94億円) 外国人観光客宿泊数 H31:5万人(H28:約2.8万人)				
事業概要	<p>■海の京都DMOの運営に係る負担金 19,670千円 平成31年度までにブランド観光圏を形成するために設立した海の京都DMOに対する負担金</p> <p>■海の京都DMO天橋立地域本部に対する支援 28,002千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮津市観光振興交付金 13,125千円 海の京都DMO天橋立地域本部の運営、地域イベント支援、国内外へのプロモーションなど、海の京都DMO天橋立地域本部運営に係る基盤部分を支援 ○宮津市観光推進会議 1,000千円 地域課題解決のため、地域住民の観光に対する意識醸成(講演会など)を支援 ○丹後観光情報センター(天橋立駅内) 12,377千円 本市観光における玄関口となる天橋立駅での観光案内業務及び増加する外国人観光客に対する案内体制の強化への支援 ○観光パンフレット等作成 1,500千円 <p>■観光分野において活躍する地域おこし協力隊の配置 8,000千円 天橋立アクティビティセンターを活動拠点に地域課題に取り組むため、地域おこし協力隊2名を配置</p>				【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
				年度策定				計画期間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
				地域住民、観光、商工関係者と協議し、協力しながら、広域観光を推進。 宮津市観光推進会議への参画。					
				【先進性】					
				【(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)】 ・観光協会を統合したDMOは全国初(H28) 国が提唱する日本版DMO登録法人に海の京都DMOが認定(H29) 【丹後観光情報センター】 ・日本政府観光局の外国人案内所カテゴリーⅡに認定(H25)					
				担当部署	企画部 観光定住課 観光振興係			TEL	45-1625

事業名	宮津天橋立周遊観光推進事業	継続	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	9,366	4,683				4,683
総合戦略策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
				10,635	国	地方創生推進交付金			4,683
背景・経緯	H27 : 観光交流センター開設、道の駅登録、海の京都博を開催 (7.18~11.15) 天橋立砂浜ライトアップ実証実験 H27~: 天橋立パーク&クルーズの実施 H27~: 成相寺紅葉ライトアップ開催 H28~: 天橋立砂浜ライトアップ本格実施								
目的・目標	本市における観光客の滞在時間を延ばし観光消費額を増加させるため、海上交通を活用した周遊ルートの構築及び夜の賑わい創出を推進し、周遊型・滞在型観光への転換を図る。			期待される効果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31:300万人 (H28:約291万人) 観光消費額 H31:150億円 (H28:約94億円) 外国人観光客宿泊数 H31:5万人 (H28:約2.8万人)				
事業概要	■海を活用した天橋立周遊の実施 6,366千円 「丹後観光のゲートウェイ」として、浜町を起点とした周遊ルートを構築し、ゴールデンウィーク等の渋滞緩和、新たな海上交通を活用する観光コースの定着を図る。 【取組内容】 ○交通事業者と連携したパーク&クルーズの実施 ○海上交通を活用した観光コースの定着を図るためのプロモーション活動 ○交通誘導員の配置及び臨時駐車場の開設による民間駐車場との連携 (府中地区においては府中地区渋滞対策委員会(仮称)への支援) 【実施予定期間】 計43日間(4月28日~5月6日、7月14日~8月26日の土日祝日(盆含む)、平成31年1月1日~3日 ほか) ■夜の賑わいの創出 3,000千円 夜の賑わいを創出し、滞在時間延長を図るため、夏から秋にかけて地域が主体的に取り組むライトアップ事業を支援する。 【実施主体】 「海の京都」天橋立地区協議会 【取組内容】 ○天橋立まち灯り(天橋立砂浜ライトアップ) 開催予定期間:7月14日(土)~9月2日(日) ※「天橋立まち灯りぶらり散策」、「ナイトクルーズ」など地元団体、交通事業者の別途取組と連携 ○成相寺紅葉ライトアップ 開催予定期間:11月10日(土)~11日(日)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				25年度策定	海の京都天橋立地区マスタープラン	計画期間			
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
【市民参加の状況】					地域住民、観光、商工関係者と協議し、協力しながら賑わいづくりを実施する。				
【先進性】									
担当部署	企画部 観光定住課 観光振興係			TEL	45-1625				

平成30年3月定例会

平成30年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	宮津与謝環境組合分担金	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	388,213			371,100		17,113
総合戦略 政 策	—		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
			467,859	市債	過疎対策事業債			371,100	
背 景 ・ 経 緯	平成4年竣工の現宮津市清掃工場は老朽化が懸念されるとともに、平成19年3月に地元との設置期限が終了後、毎年延長を依頼し、同意を得て運転している。 ・H25～ 1市2町で宮津与謝環境組合を設立し整備候補地の生活環境影響調査等実施 ・H27～ 候補地地元の建設同意・敷地造成工事着手 ・H28.4 DBO事業者と契約締結 ・H28.11 敷地造成工事完了 ・H29.1～ 施設建設工事着手 ・H29.4～H29.10 転石除去等に伴う追加工事(H32.3月末実質稼動・5月末竣工目途)			期 待 さ れ る 効 果					
	目 的 ・ 目 標	宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する宮津与謝環境組合において、新たな広域ごみ処理施設を整備することにより、一般廃棄物の安定処理を図るとともに、本市の循環型社会の形成に寄与するため。							
事 業 概 要	新たな広域ごみ処理施設の整備・運営主体である宮津与謝環境組合の運営費及び事業費に対し、組合規約に基づく負担割合に応じた本市の分担金を拠出する。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	○宮津与謝環境組合：平成25年4月1日設立（与謝野町岩滝庁舎内に事務所設置）			25 年度策定	宮津与謝地域広域ごみ処理基本計画	計 画 期 間	25 ～ 38		
	○広域ごみ処理施設整備予定地：須津大谷地区（～一部与謝野町石川地区）			26 年度策定	新ごみ処理施設基本計画				
	○主な事業内容			年度策定					
	①施設建設工事施工監理業務 (H28～H32)			年度策定					
②施設建設工事 (H28～H32)			【市民参加の状況】						
③議会費、総務費等経常経費 他									
※普通建設事業(①+②)の総事業費:9,817,946千円									
H30事業費:1,203,088千円(うち国庫補助金410,022千円)									
○分担金内訳(人口割) 計 892,684千円			【先進性】						
宮津市 (43.4883%) 388,213千円(うち371,182千円が建設事業分)									
伊根町 (4.9800%) 44,456千円									
与謝野町 (51.5317%) 460,015千円			焼却炉にバイオガス化施設を併設し、ガス発電を行う一般廃棄物処理施設は、全国的には先進事例。						
担当部署	市民部 市民課 生活衛生係		TEL	45-1617					

事業名	景観まちづくり推進事業		継続	予算額	財源内訳						
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	8,360	4,000				4,360		
総合戦略策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
				40,700	国	街なみ環境事業費補助金			4,000		
背景経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H20.11 天橋立周辺地域景観計画施行 ・H21.6 宮津市まち景観形成協議会設立 ・H24.3 宮津市景観まちづくり提言書の提出 ・H25.8 景観まちづくりマスタープランの策定 ・H26.4 宮津市景観条例及び宮津・天橋立景観計画施行 ・H26.8 文珠メソッド締結(界限景観まちづくり協定第1号) ・H27.8 大垣界限景観まちづくり協定締結(〃第2号) ・H28.6 溝尻界限景観まちづくり協定締結(〃第3号) 										
目的目標	天橋立をはじめとする宮津市特有の美しい自然と悠久の歴史に育まれた景観を守り育て後世に伝えていくために、行政・市民・事業者が協力して景観に配慮した街なみ整備を進めることにより、個性的で魅力あるまちづくりを促進する。			期待される効果	魅力ある街なみ景観を形成することにより、日本の顔となる観光地づくり及び居住空間としての快適さの向上を図ることができる。						
事業概要	<p>■街なみ環境整備事業 8,000千円</p> <p>○景観まちづくり事業補助金 7,500千円</p> <p>住民主導による街なみ修景を進めるため、界限景観まちづくり協定に基づく修景の取組み等に対し支援を行う。</p> <p>・街なみ修景助成事業(建物等修景)5件 7,500千円</p> <p>○宮津市まち景観形成協議会活動助成 500千円</p> <p>良好な景観形成への取組みを更に進めるため、地域の景観まちづくり協定の策定など景観まちづくり活動を支援する。</p> <p>■宮津市景観審議会の運営 360千円</p> <p>市景観審議会において、景観まちづくりの方向性や景観計画の運用等に係る審議を行うとともに、同審議会の景観デザイン委員会において、景観まちづくりに係るデザイン面での助言等を行う。</p>			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】							
				H22 年度策定	文珠地区・新浜、魚屋地区まちづくり計画	計画期間					
				H24 年度策定	西部地区・府中地区景観まちづくり計画						
				H25 年度策定	景観まちづくりマスタープラン						
				H25 年度策定	宮津・天橋立景観計画						
【市民参加の状況】							【先進性】				
<p>【界限景観まちづくり協定の締結】</p> <p>・文珠地区(文珠町づくり委員会)・府中地区(大垣自治会界限景観特別委員会・溝尻自治会まちづくり協議会)</p> <p>【宮津市まち景観形成協議会への参画】</p> <p>・文珠町づくり委員会・西部地区地域会議・宮津まちづくり研究会・宮津中部地区自治連合協議会・府中をよくなる地域会議・東部地区・上宮津地区・橋北地区</p>											
担当部署	建設部 都市住宅課 まち景観係			TEL	45-1630						

(単位:千円)

事業名	重要文化的景観保護推進事業		継続	予算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	22,500	11,250			11,250	0	
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
背 景 経 緯	・選定経緯：H26.3：府中地区が「宮津天橋立の文化的景観」として国の選定を受ける。 H27.1：文珠地区が追加選定を受ける ・修景整備：「重要な構成要素」となった建造物等の修景整備事業を実施。 26年度(1件)・27年度(2件)・28年度(3件)・29年度(3件)			23,000	国	国宝重要文化財保存整備費補助金	11,250			
					繰入	まちづくり基金繰入金	11,250			
目 的 目 標	当地の豊かな自然・歴史に育まれた地域景観の価値を明らかにし、後世に伝えるとともに、歴史文化を活かした地域づくりを推進する。			期 待 さ れ る 効 果	・地域の歴史的成り立ちの解明と価値付け ・市民の郷土意識と誇りの涵養 ・歴史的建造物の修景、魅力的な景観の創出 ・世界遺産登録推進に向けた地域の価値付け					
事 業 概 要	■普及啓発・調査事業の実施 2,000千円 宮津地区の追加選定に向け市民の機運醸成と、全体の整備計画のための調査事業を実施。各事業実施にあたっては有識者による検討委員会を組織し指導・助言を得る。 ○普及啓発活動 宮津地区を中心にまち歩き、フォーラム等を開催。地域の景観資源の価値付けを行うと共に、選定申出に向けた機運醸成を図る。 ○宮津地区の保存計画の作成 追加選定に向けて、景観形成基準や、「重要な構成要素」となる建造物等の特定を行い、選定申出に必要な保存計画の作成を行う。 ○整備事業に係る基礎調査等の実施 「重要な構成要素」について、建物履歴等の基礎調査を実施、修景整備事業や、選定地区全体の整備活用計画策定につなげる。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
				27年度策定	宮津市教育振興計画	計 画 期 間	27～32			
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
			【市民参加の状況】							
			・フォーラムの開催(23年度～28年度) 延べ約540人参加 ・ブラミヤゾ(29年度) 市街地のまち歩き企画。4回実施。 まち景観形成協議会との連携事業 延べ約200人							
			【先進性】							
			市の景観まちづくり事業や遺跡発掘調査事業等との連動はもちろん、地域団体が進める各種事業とも連携により、住民主体の歴史を活かした総合的なまちづくり事業への展開が見込める。							
			担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 文化振興係	TEL	45-1669				

事業名	小中一貫教育推進事業～学力向上対策の強化～		充実	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	13,671		2,000		11,500	171
総合戦略 策 略	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28. 3：宮津市教育振興計画策定 ・H28. 7：宮津市小中一貫教育研究推進協議会設置 ・H29. 1：宮津市小中一貫教育基本方針策定 ・H29.12：宮津市小中一貫教育推進基本計画策定 ・H30. 2：宮津市学力向上プラン策定 			9,799	府	市町村未来づくり交付金	2,000		
					繰入	教育基金繰入金	11,500		
目 的 ・ 目 標	宮津市教育振興計画における基本方針「明日の宮津を創る子どもの育成」に位置付ける“質の高い学力の充実・向上”“心身ともに健やかな子どもの育成”を目指す。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を重視した教育課程の編成による学力向上 ・学習意欲の向上、学習習慣の定着 ・「小1プロブレム」「中1ギャップ」等の解決 ・教員の授業力の向上 				
事 業 要 概	■小中一貫教育推進事業 13,671千円 系統的な教育課程の編成による学力向上等を目指す「小中一貫教育」の平成32年度の完全実施に向けて、乗り入れ授業等の教科カリキュラムでの指導等を実践するとともに、学力サポートコーディネーターを新たに配置し、算数・数学の学力向上を図る。 ○栗田学院での試行実施及び宮津学院での研究実践 ※学院…中学校区の小・中学校の呼称 ○学力サポートコーディネーター(指導主事1名)新設による算数・数学の指導力向上 ○市民啓発(小中一貫教育推進基本計画リーフレット作成、フォーラムの開催) ○小中一貫教育専門職員の配置、小中一貫教育研究推進協議会の運営 ほか				【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
				27 年度策定 宮津市教育大綱		計 画 期 間	27 ～ 32		
				27 年度策定 宮津市教育振興計画			28 ～ 32		
				28 年度策定 宮津市小中一貫教育基本方針			29 ～		
				29 年度策定 宮津市小中一貫教育推進基本計画			29 ～		
			【市民参加の状況】						
			<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市小中一貫教育研究推進協議会委員に保護者の参画 ・宮津市小中一貫教育フォーラムへの市民・保護者の参加 						
			【先進性】						
			担当部署		教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係		TEL	45-1641	

81・92・96

事業名	スクールバス運行事業 地方バス路線運行維持対策事業		継続	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	109,712		7,783		101,800	129
総合戦略 策	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.4:由良小の栗田小への統合により専用スクールバス運行 ・H25.10:宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始 ・H26.4:日置中の橋立中への再編により日置世屋線を橋立中まで延伸 ・H27.4:上宮津小の宮津小への再編により上宮津線の系統追加 ・H27.10:宮津与謝エリア上限200円バス社会実験を2年間延長 ・H29.4:日置世屋線の木子への延伸、島陰新宮線の由良及び宮津市街地への延伸、養老中の橋立中への再編により専用スクールバス運行 ・H29.10:宮津与謝エリア上限200円バス本運行に移行 			95,425	府	市町村運行確保生活路線維持費補助金	7,783		
				繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金	101,800			
目 的 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学する児童生徒の安全確保及び公共交通網の維持、利便性向上を図るため、6路線の一般混乗型スクールバスを運行するほか、専用スクールバスを運行する。 ・交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、路線バスの運行経費に対し支援し、利便性向上等を進め適切な公共交通の維持を図る。 			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学、買物通院等移動の利便向上 ・利用者拡大による健全な公共交通の維持 ・遠距離通学する児童生徒の安全確保 KPI:200円バス利用者数 H31:33万人(H29:30万人) KPI:公共交通空白地 H31:0集落(H29:5集落→H30:4集落)				
事 業 概 要	■スクールバス一般混乗型の運行 48,960千円 幹線と集落等を結ぶ枝線路線をスクールバス一般混乗型として運行。 ・日ヶ谷線 【延伸】H30.4～ 藪田まで延伸(公共交通空白地解消1集落) ・日置世屋線【短縮】H30.4～ 木子～日置～与謝の海病院を運行(与謝の海病院～橋立中学校間を廃止) ・その他(田井線・島陰新宮線、波見線、上宮津線)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	■専用スクールバスの運行 21,394千円 ・栗田小学校スクールバス(専用バス1台)対象地域:由良 ・橋立中学校スクールバス(専用バス2台)対象地域:日ヶ谷・養老・日置・世屋			27	年度策定	宮津市教育大綱	計	27～32	
	■幹線路線への支援 31,637千円 市町域を超える幹線路線の運行を国府・関係市町とともに支援。 ・伊根線ほか4路線(運行経費 186,943千円)			27	年度策定	宮津市教育振興計画	画	28～32	
	■枝線路線への支援 7,721千円 幹線と集落等を結ぶ枝線路線の運行を支援。 ・上宮津線(運行経費 8,042千円)上宮津地区～宮津市街地間を運行			年度策定					
				年度策定					
			【市民参加の状況】						
			地域公共交通会議において、ダイヤ、運賃、路線等について協議 H29.8 宮津与謝エリア上限200円バス本運行移行を承認 H30.2 日ヶ谷線の延伸、日置世屋線の短縮を承認						
			【先進性】						
			担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係 企画部 企画政策課 環境交通政策係			TEL	45-1641 45-1609	

※各年の数値は、前年10月から当年9月までの数値

事業名	学校教育環境の整備・充実 ~学校施設の計画的な整備の推進~ (小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業)		充実	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	239,900	45,606		194,200		94
総合戦略 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.3 : 宮津市子ども・子育て支援事業計画策定 ・H28.3 : 宮津市教育振興計画策定 ・H29.8 : 学校施設整備年次計画策定 ・H29.9~ : 平成30年度施工分実施設計 			66,000	国	学校施設環境改善交付金(3月)	24,940		
					国	学校施設環境改善交付金	20,666		
				市債	義務教育施設整備事業債(3月)	106,000			
				市債	過疎対策事業債	88,200			
目 的 目 標	学校施設整備年次計画に基づき、エアコン設置・トイレ洋式化100%の早期実現などを図る。			期 待 さ れ る 効 果	より良好な教育環境を提供 ・普通教室エアコン整備率100% (H32) ・洋式トイレ整備率100% (H32)				
事 業 概 要	■学校施設の整備 239,900千円 (H30当初予算 108,900千円、H29.3補正 131,000千円) 学校施設整備年次計画に基づきエアコン等の整備を進めるもの。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	○工事					計 画 期 間	26 年度策定 宮津市子ども・子育て支援事業計画		27 ~ 31
							27 年度策定 宮津市教育大綱		27 ~ 32
							27 年度策定 宮津市教育振興計画		28 ~ 32
							29 年度策定 学校施設整備年次計画		29 ~
				【市民参加の状況】					
				【先進性】					
						担 当 部 署	教育委員会事務局 学校教育課 施設係		TEL

エアコン設置	宮津小(南校舎)※、宮津中※、栗田中※
トイレ洋式化	宮津小(南校舎)※、宮津幼、栗田幼
非構造部耐震化	宮津小(体育館)
その他改修工事	宮津小(キュービクル器具交換工事、高架水槽・受水槽改修)

※国の補正予算を活用し、平成29年度3月補正とするもの。

○実施設計

通級指導教室整備	府中小
----------	-----